

# 2012年1月号 農山村ネットだより

発行元

とよた都市農山村交流ネットワーク

代表 山本 薫久

豊田市杉本町三斗成 1-3

旧杉本保育園を活用する会農山村交流・中継センター

tel・fax 0565-68-1113

あけまして おめでとうございます

本年も よろしくおねがいたします 2012年新春

**2月13日(月)拡大幹事会・学習会**

幹事さんはもちろん、多くの会員のみなさまの参加を期待しております。

午後6時開会 今後の取り組みについて

午後6時30分から8時ごろまで学習会

「こどもがのびのび自然と遊ぶプレイパーク」から学ぶ

天白プレイパークの会

とよたプレイパークの会 指導員

塚本 岳(たけし)さん 講演

とよたプレイパークの会からご紹介

昨年度より市からの委託を受け、鞍ヶ池公園で毎月プレーパークを開催しています。

プレーパークは、普通の公園のようにきれいに整備されていません。廃材とロープによる手づくりの遊具が置かれ、地面もでこぼこです。そこで子ども達は、火・土・水・木といった自然と、道具や工具を使っておもいおもいに遊んでいます。地面を掘って水を流しダムを作ったり、水かけ、基地作り、ベーゴマ、木工、木登り、屋根からの飛び降り、穴掘りなど、名前の付けようがない遊びを含め、子どもも大人もみんなが一緒になって遊んでいます。

子どもは遊びの中で、自分の限界に挑戦し自分の世界を広げていこうとしています。経験のないことをするので、危なっかしいのは当たり前。ときにはケガをすることもあります。そうした経験は、本当の危険から身を守る力を子どもが身につけるひとつのチャンスでもあります。子どもの「やってみよう」という思いは、リスクも承知で自分の限界を超えたいという大きなエネルギーを生んでいきます。それは自ら「育とう」とする、子ども自身の力でもあるのです。そしてプレーパークは、その力を応援したいと思っています。

またプレーパークには、プレーリーダーという大人がいます。プレーリーダーは、やってみようと思う子どもの気持ちを実現させるために、様々な環境を整えます。遊びの”指導者”ではありません。

まず、子どもととことん遊び、それを通じて子どもの気持ちを受け止め、そして親や先生に話すことのできないことを話せる相手として、子どもの傍らにいます。必要があれば大人や社会とも向き合い、子どもの気持ちを伝えていきます。そのほか、ダブルや怪我に適切に対応すること、また、人と人をつなぐことなど、たくさん重要な役割を担っています。

私達は、このプレーパークを、市内のいろいろな地域につくることを目標にして活動をしています。

拡大幹事会・学習会の開催場所 杉ん子の里 農山村交流・中継センター(旧 杉本保育園)

豊田市杉本町三斗成1-3

TEL 0565-68-1113

その他今後の予定(問合せ・参加希望 090-5453-6411)

- ・1月16日(月)根羽村視察 修学旅行生受入の経験を学ぶ根羽杉工芸体験9:30稲武道の駅集合
- ・2月21日(火)三重県鳥羽市「海島遊民くらぶ」視察(1泊2日)
- ・3月18日(日)「農山村へのシフト」シンポ 10:00から足助交流館
- ・3月25日(日)「ほんわか 里山交流まつり INすげの里」参加ブース募集中

幹事会 1月17日(火) 2月13日(月) 3月19日(月)

終わったどー！！

12月18日 なんとか収穫まで漕ぎつけることが出来ました。

正直、ずっとしんどかった。もっと無責任な立場だったら めっちゃ楽だったろうなあ。

と申し訳ないけれど何度も何度も何度も、思いました。

確かに自分で作った”無農薬の大豆でお味噌を作る”・・・それは言うは易し。思うは易し。

けれど、ほんまにそれを実行しようと思ったら、仕事と一緒に「真摯に向き合わなあかん」と

何度も何度もズシッと思いました。私の意識の本気を大豆はちゃんと見抜いているって分かるんです。

私の途中で投げたい気持ちをかろうじてぐっところえて、最後まで辛抱して畑に関われたのは、畑を絶えず見守って大きな手助けをしてくださった稲垣さんと事務局の西川さんのお陰です。そして大工の石原さんも忙しい中、ほんまにありがとう！！

大豆も裏切れなかったけれど、お二人と大豆を裏切れなかった。

本当に正直、収穫や達成した喜びよりもようやく畑から解放されたことの安堵感の方が大きいです。

けれど、なんや変なんだけれど あんなに逃げたかったはずなのになんでかねえ・・・

いずれは畑でまた作ってみたいという気持ちがあるんよね。

きっと、これを読んでいる皆さんには笑われてると思いますが、ほんま私も自分自身に笑ってます。

でも何でやろうねえ。畑は真っ直ぐやからかなあ。

最後カッコいいこと書けなくてすみません。収穫した大豆の様子は写真がこの文と共にあると思うのでそちらでご覧くださいませ。

ほんま、原稿書くのも苦しかったんだけど、これも最後のお勤め。

皆さん笑って許して下さいませね(^^)

さて、まずは2月11日に大手前味噌を作ります！この場を借りて呼びかけるでえ。

『おーい！大豆会議諸君、

味噌仕込む時くらいは参加してけろー！！頼むでー（笑）』

\(^^)/

ほな2月11日に会いましょう！！

ちあき



## 下山地区

### 三河湖景観整備交流事業パートⅠ、パートⅡ

11/26（土）

前日までの強風がうそのような好天に恵まれ、トヨタ自動車の技術分野の方々90名ほどとトヨタ森林キーパーズ、三河湖共栄会など総勢110名ほどで、三河湖の間伐、竹きりを行いました。

まずは、豊田市森林課長の原田さんを講師としての森林講座からスタート。森の現状、間伐の意味等をお話しいただき、改めて森林保全の大切さを感じました。私（新実）は、竹きり作業のお手伝いをしましたが、参加者の方は、手ノコで、かなり太い竹まで汗をかき苦労しながら切っていました。若い方が多く、話をしてみると、「間伐などに興味があって参加しました。仕事ではパソコンの前での作業が多く、いいリフレッシュができました。」と笑顔で話してくれました。

何はともあれ、一日無事で終われ一安心。ご苦労様でした。また春に交流事業を企画中です。春も楽しみに待ってるね！

11/27（日）

前日と変わらず好天に恵まれ、毎年春と秋の2回行っている、三河湖を愛する釣り人グループと水辺の清掃活動を行いました。今回は、色々な行事と重なり、参加者は30名ほどと少人数でしたが、リピーターの方が多く、予定どおり午前中で作業を終了することができました。また春も待ってますね。ご苦労様でした。





## 足助地区

くらし体験館「すげの里」では12月25日に餅つき大会をしました。

この餅つきは一般募集をし10家族25名の方が参加され、朝9時から餅米を蒸し 皆さんが見守る中親子で突きお母さんが手返しと息の合った？餅つきでした、



つき上がった餅は丸めて小さな鏡餅やのし餅と手や顔にとり粉を付けながらの奮戦でした、



お昼は自分達でついた搗きたての餅を食べました、「美味しい美味しい」とお腹いっぱい2白も食べてしまいました。

帰りはお正月用のお餅を持って皆さん満足そうな顔で帰られました。

## 稲武地区

### 今年の氷瀑+いなぶおしゃべりサロン始まる！！

11月29日(火)に開催された『いなぶの「夢」を語ろう』の講演会。会議室がいっぱいになる60余名が集まり、会場は熱気に包まれました。講演は洪澤、高野の両先生と旭の安藤征夫さん、稲武のIターン者、地域会議の議長で、アンケートを見る限り、おおむね好評でした。そして、もっといろいろ話してみたいという声に、1月11日に、みんなで「いなぶ」について語り合おう！という『いなぶおしゃべりサロン』が開催されることになりました。こういう場が稲武でこれからも続いていくと、面白いことになるのではと期待しています。

さて、稲武の氷瀑は今年、さらにスケールアップしています(写真ではよくわからないと思いますが)。テレビのニュースなどでみられた方も多と思います。これは稲武町の松井徹さんとそのご家族が稲武を元気にしようと思ったくの手弁当で作られているものです。ぜひ寒いうちに(2月の中旬くらいまで?)いちどご覧においでください！



## 福蔵寺ご縁市に旭地域会参加

### 芋煮が大好評

おなじみ株式会社M-easy 主催の「福蔵寺ご縁市」第2回目が、昨年11月13日(日)、太田町の福蔵寺で行われました。ここに、とよた都市農山村交流ネットワーク旭地域会も出店ブースを設け参加しました。

今回は、芋煮。春から会員で育ててきたサトイモが主体です。10名の会員が朝早くから出て準備。うれしかったことは、地域のお年寄り2名が、スタッフとして参加してくれたことでした。みんなで芋の皮をむき、会話も弾みました。皮むきが終わると洗って、10時30分の販売に向けて煮込みが始まります。汁の量はどうか、味付けはどうか、みんなでわいわい言いながら大忙し。煮上がったところで味味。「グー。」いよいよ販売開始。食べてもらえるか心配でしたが、1回目予定の50食は完売。「サトイモがおいしい。」「このコンニャクの食感、初めての感じ。うまい。」などのコメントをいただきました。サトイモはもちろん、コンニャクは手作り。味噌も手作り。それが良かったんですね。11時30分の2回目も50食を完売。それでも要望が多く、追加の3回目を用意しました。うれしい悲鳴です。

#### レシピの問い合わせをたくさんいただきました。

「1食の分量も多く、すごくおいしい。あれで100円は安い。」多くの皆さんからそんな声をたくさんいただきました。中には、3杯も食べた人がいます。レシピの引き合いも何人かからありました。

今回の福蔵寺ご縁市も、子どもからお年寄りまで、幅広い層の人たちがたくさん参加し、400人を越えました。出店数は25店舗。地元の人たちの参加も多く、参加しやすいという声も聞きました。

次年度も年3回の開催を予定しているとのこと。これからも活性化と農都交流の目玉になっていくことを期待し、頑張っていきます。



## 小原地区

11月の小原は四季桜見物のお客様でいっぱいでした。ウォーキングコースがいくつか作られたので、リュックをしょって山道を巡る人の姿がたくさん見られました。

お店を出している方の話では、人出の割に売上げが少なかったようです。

20万人近くの方が来て下さっているので、もう少し個性的で価値のある物を工夫してゆく必要があるのでは、と思いました。

西村農園では12月はお節料理としめ縄作りを楽しみにたくさんの方が来て下さいました。野菜の入った伊達巻、ゆずの香りいっぱいの田楽作り、カブもち入りのお吸い物などが好評でした。

今年は初めて3人で1本のしめ縄をなう方法を考えてやってみたら、小さな子もとても上手にできました。自然の松、南天、稲穂、松ぼっくりなどを飾って、ステキでした。

絆を紡ぐしめ縄作りは皆さんの心を一つにする不思議な力も持っていました。

豊田農山村の人々は遅しく、元気です。11月12日(土)から始まった「第二回旭木の駅プロジェクト」が終わりました。出荷合計は前回と全く同じ、92tでした。地域通貨「モリ券」は40万円以上が流通しました。半ば放置されていただけの間伐材が地域限定で温かい通貨として笑顔と共に使用してもらったのです。更に「山が元気に、旭が元気に」を合言葉に、小さな積み重ねで頑張っていこうと思っています。主役は地域の人たちです。1月24日(火)旭交流館3階会議室にて、第三回旭木の駅プロジェクト説明会を行います。ご自分の地域で始めてみようと思われる方、是非ご参加下さい。 問い合わせは事務局 杉野まで

とよた都市農山村交流ネットワークでは会員を募集しています。

農林業体験希望者を受け入れてもいいかなあ。花木や昆虫のことなら聞いて！

農業はダメだと料理は自信があるわ。農家で泊めてあげるよ。炭焼きならできるんだけど…。  
などなど、体験の受け入れをしていただける方、お手伝いをしていただける方はご連絡下さい。

都市部の方でもOKです。いろいろな協力をお願いします。皆で一緒に楽しみましょう

とよた都市農山村交流ネットワーク

〒444-2816 豊田市杉本町三斗成 1-3

tel・fax 0565-68-1113 mail:nosanson@hm10.aitai.ne.jp